



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
 JR新宿ビル13F 〒151-8512
 電話 03-3375-5740(代)
 2018年12月15日 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子
 第690号 月2回(1日、15日)発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

明るい未来を創るために 仲間と共に 温もりある職場・組織を 創り出そう!



第36回定期大会以降、新生JR東労組は「信頼回復」「組織強化・拡大」を柱に据え、秋のたたかいつなげました。『18春闘「敗北」の総括に踏まえ、職場の声に基づ

く新生JR東労組運動を創り出すことを基礎に信頼を回復し、組織強化・拡大のうねりを大きく創り出そう。』をスローガンに運動を展開してきました。

労働組合とは、一人では弱い立場である労働者が結集し、団結力を基礎に経営側と団体交渉を行い、組合員の利益を守るための組織です。団体交渉権を持っているのは労働組合だけです。そして、労働組合運動とは世の中の状況を認め、仲間と決起して改善や改良を勝ちとるためにたたかいつなげていくことです。そのためお互いに学び、お互いに質を高めていくことをしていかなければなりません。

二つ目は、試験についてです。「JR東労組に所属していると試験に受からない」との言葉に惑わされてしまった仲間が数多く脱退しています。しかし、申5号「安全・安定輸送の確保を目指す」職場の不安解消を求め、所属組合で差別したことではない」と、会社は回答を明確にし、現場においてはJR東労組に所属していても試験に合格している事実があります。

三つ目は「JR東労組は団体交渉できない」と言われていたが、労働条件・職場環境改善、安全問題、年末手当など、経営側と向き合い、職場で奮闘する仲間の切実な声を基に団体交渉を行っています。

他にもありますが、事実を正しく捉え、自らの言葉として発信していくことが今、私たちに求められていることです。

「私」だけのJR東労組
 あらゆる圧力や揺さぶりにも耐えている仲間が、職場で「JR東労組を辞めない理由」を明確にしています。「自分が脱退しない理由は、現場の声を届けるため、他の職場の現実を知ることができるから」「父の葬儀の手伝いをJR東労組の仲間がやってくれたことが一番だ。区長や副区長に『自分は辞めません』と言いつつ、それで何もない」という声が出されています。また「入社して間もない頃、仕事での失敗も多く、人間関係もうまくいかずに悩んでいたときに声を掛けてくれたのがJR東労組の方々でした。食事やレクに誘ってくれて、人の温かさや仲間の強さを教わりました。だから私には脱退という選択はありません! JR東労組を信じています」という激励もいただいています。

新生JR東労組に集まろう
 労働組合は「労働者が結集する場」「仲間が集まる場」でなければなりません。JR東労組は労働組合らしく運動を推し進めていくために、「信頼回復」「組織強化・拡大」に最大力を入れていきます!そして、新生JR東労組の仲間になりたくて思われる組織を創り、再加入、新規加入の仲間を温かく迎え入れる場をつくっていきましょう!

これまで、職場では根も葉もない噂が蔓延し、残念ながらも噂に揺さぶられ、脱退を余儀なくされた仲間もいます。その時々正しい情報が伝わらなかった、伝えられなかったことは、反省しなければならぬことです。だからこそ、今一度事実を明確にして、仲間と共に訴えていく必要があります。

事実を正しく捉えよう

申5号「安全・安定輸送の確保を目指し、職場の不安解消を求める申し入れ」団体交渉を10月2日に行い、オリンピック・パラリンピックの成功を目指し、労使の共通認識として、安全・安定輸送に向けて職場の不安を解消することを確認。職場の不安として出されている試験、昇進、転勤等について「オープンジョブ制なので、組合の如何によって差別するものではない」、再加入にあたって「組合の運動方針や活動に介入するものではない」と確認。

申7号「労使間の取扱いに関する協約の改定」に関する申し入れの団体交渉を9月12日におこない、「会社が労働組合の活動を規制するものではない」と確認。9月20日に協約を3年の期間で締結。

申9号「2018年度年末手当に関する申し入れ」は10月24日に申し入れをし、団体交渉を2回おこないました。減収ではありませんでしたが、11月14日に昨年同月数の3.18ヶ月の回答を受けて妥結。



12月13日は旧日本軍が南京を占領し、多くの中国人を殺戮した南京大虐殺事件から81年となる▼南京での旧日本軍の暴行は、略奪、放火、国際安全区内での暴行をはじめ、集団虐殺から婦女暴行までに及んだ。その中でも人間の尊厳を無視し、さらに女性をモノのように扱った日本軍の行為は恥ずべきことだ▼「#MeToo運動」によって、女性の権利がかつてないほど注目されている。その波も相まって、JR東労組がカンパをおこない中国の農村部に小学校を建設した時にお世話になったドキュメンタリー映画監督・班忠義さんが作成した慰安婦の人生を追った映画『太陽がほし』がアムステルダム国際フィルムマーケット映画祭で外国語ドキュメンタリー最優秀作品を受賞した。権力を用いて性的行為をすることが暴力であるという認識はようやく入り口に立ったというところかもしれない▼性暴力を受け心身に傷つき、後遺症や病気を負いながら、勇気をもって語った歴史を私たちは忘れてはいけない▼毎年、いかなる情勢の時もJR東労組は現地に立ち歴史を学んできた。今年も現地でしか感じられない歴史の重みを受け止め、仲間と共に平和の大切さを広げたい。(N・M)



12月13日は旧日本軍が南京を占領し、多くの中国人を殺戮した南京大虐殺事件から81年となる▼南京での旧日本軍の暴行は、略奪、放火、国際安全区内での暴行をはじめ、集団虐殺から婦女暴行までに及んだ。その中でも人間の尊厳を無視し、さらに女性をモノのように扱った日本軍の行為は恥ずべきことだ▼「#MeToo運動」によって、女性の権利がかつてないほど注目されている。その波も相まって、JR東労組がカンパをおこない中国の農村部に小学校を建設した時にお世話になったドキュメンタリー映画監督・班忠義さんが作成した慰安婦の人生を追った映画『太陽がほし』がアムステルダム国際フィルムマーケット映画祭で外国語ドキュメンタリー最優秀作品を受賞した。権力を用いて性的行為をすることが暴力であるという認識はようやく入り口に立ったというところかもしれない▼性暴力を受け心身に傷つき、後遺症や病気を負いながら、勇気をもって語った歴史を私たちは忘れてはいけない▼毎年、いかなる情勢の時もJR東労組は現地に立ち歴史を学んできた。今年も現地でしか感じられない歴史の重みを受け止め、仲間と共に平和の大切さを広げたい。(N・M)